4月　ほけんだより

令和７年４月１７日発行

ほくしんこども園

ご入園・ご進級おめでとうございます。ドキドキワクワクの中で、新しいクラスでの生活がスタートしました。子どもたちが楽しくすこやかに成長していけるよう、見守っていきたいと思います。年度当初は、緊張から子どもたちも疲れやすくなっています。ご家庭では、ゆっくり休養できるよう、ご配慮をお願いします。保健に関する情報は「ほけんだより」を通してお知らせしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

年間計画

・内科検診　４月・１０月

・歯科検診　６月１９日

・身体測定　毎月第３週目

４月２２日（火）は健康診断の日です。日ごろ気づきにくい病気を早く発見したり、成長を知ったりすることは、子どもの健康を守るためにとても大切です。結果は、異常があった場合のみお知らせします。また園では年に２回の健康診断が義務付けられています。欠席されると、後日個人で学校医まで行って受けていただかなければなりません。ご了承ください。

薬について

以前、「お知らせとお願い」の手紙でお伝えしていた通り、園で薬を飲ますことは、医療行為になりますので、薬を飲ますことができません。かかりつけ医と薬についてご相談ください。

ただし、保湿剤の塗布が必要な場合は、連絡帳または複写式連絡帳にその旨を書いて週の初めにお知らせください。

（例：〇日～〇日保湿剤塗布　保護者サイン）

園で具合が悪くなった場合は連絡します

① 発熱・下痢や嘔吐があったとき
（おおむね３７．５度～３８度程度）
② 伝染性の病気が疑われるとき
③ ケガをして病院を受診するとき
④ お子さんの様子がいつもと違うとき

※緊急連絡先の①・②の順番で連絡させていただきます。いつもとは連絡先が違う場合は事前にお知らせください。

目安を守って、元気に登園しよう

熱や嘔吐、下痢などからの病み上がりは、家では元気でも、園で長時間過ごすまでには回復していないことはよくあります。そんな時期に無理をすると、ぶり返してかえって長引くおそれがあるので、登園再開の目安を守って、しっかり回復する時間をとってください。

インフルエンザなどの感染症は、登園再開の目安が決まっています。診断を受けたら、園にご連絡ください。

熱
・前日に、３７．５度以上の熱が出ていない
・解熱後２４時間がたっている

おう吐
・前日（２４時間以内）におう吐がない
・食べたり飲んだりしても吐かない

下痢
・前日（２４時間以内）に下痢便が出ていない
・通常の食事をしても下痢が出ない

知っておこう！子どもの健康管理

子どもの健康管理の基本は、「いつもと違う状態」に気づくこと。そのためには、「いつもの状態」を把握しておくことが、たいせつです。つねに子どものようすに気を配り、何か変化や異常が見られたとき、適切な対応ができるようにしていきましょう。

毎朝の体調チェック！

園では毎朝、登園してきた子どもたちの健康観察を行っています。
ご家庭でも、登園前など、次のようなポイントで、
体調チェックを行ってみてください。

★きげんは？★
いつもより元気がない、「おはよう」のあいさつもうつむきがちなど、いつもと違うようすが見られたら、要注意。体調が悪いためか、心理的なものなのか、原因を探りましょう。

★肌の状態は？★
いつもない発しんが見られたら、検温し、熱があれば病院へ。また、そのときはやっている感染症があれば、特に注意して症状を確認しましょう。

★顔色・表情は？★
顔が赤い、青白いといった場合は、発熱していたり、体調を崩していたりすることが多いので、検温してみましょう。

★便や尿のようすは？★
毎朝、排尿便の確認をしましょう。また、トイレに行く前につらそうな表情をしたり、何度も行く、時間がかかる、という場合は、いっしょにトイレに行き、状態を確認しましょう。

★熱、せきは？★
顔がほてっている、手が熱いという場合は検温を。せきだけで、熱がなく元気なときは、しばらくようすを見ます。

★子どものことばは？★
「気持ち悪い」「疲れた」「眠い」「寒い」「暑い」といったことばが聞かれたら、熱を測り、ようすを観察します。少したってから熱が上がることもあるので、しばらく激しい動きを控えたほうがよいでしょう。

★体の動きは？★
いつもと比べて、足取りが重い、だるそう、というときは、子どもにどこかぐあいが悪いのか、聞いてみましょう。ことばで訴えることのできない子どもの場合は、検温などひととおり体調をチェックしたうえで、その日１日注意して見守るようにします。

気になるときは･･･伝えてください

お子さんがお家で体調が悪かった時、お子さんの様子で気になることがある時などは、連絡帳でお知らせしていただくとともに、玄関で受け入れている職員にもお知らせください。受け入れ職員と担任が連携をとり、お子さんの様子がすぐに把握できるようにしていきたいと思っています。